



iPod touch この製品についての重要なお知らせ

この「この製品についての重要なお知らせ」には、iPod touch の保証情報のほか、安全、取り扱い、法規制の順守、およびソフトウェア使用許諾に関する情報が含まれています。

リサイクル、廃棄、その他環境に関する情報については
support.apple.com/ja_JP/manuals/ipodtouchにある「iPod touch ユーザガイド」を参照してください。



負傷を避けるため、iPod touch をお使いになる前に、以下の操作方法、および安全性に関する指示をよくお読みください。詳しい操作方法については、help.apple.com/ipodtouchにアクセスするか、「Safari」で「iPod touch ユーザガイド」ブックマークを使用することで、iPod touch の「iPod touch ユーザガイド」をお読みください。ダウンロード可能な「iPod touch ユーザガイド」およびこの「この製品についての重要なお知らせ」の最新版については、support.apple.com/ja_JP/manuals/ipodtouch にアクセスしてください。

ソフトウェア使用許諾契約

iPod touch を使用するには、次のアップルおよび他社の条項に同意いただく必要があります：
www.apple.com/legal/sla

安全性および取り扱いに関する重要な情報

警告：以下の安全性に関する指示を守らないと、iPod touch その他の物品に火災、感電、その他の負傷や損害を招くおそれがあります。

iPod touch を持ち運ぶ／取り扱う iPod touch には精密部品が内蔵されています。iPod touch を落としたり、分解したり、開けたり、ぶついたり、曲げたり、変形させたり、穴を開けたり、シュレッダーにかけたり、電子レンジにかけたり、燃やしたり、塗装したり、本体内部に異物を挿入したりしないでください。本体が割れたり、穴が空いたり、水によって故障した場合など、iPod touch が損傷したときは、iPod touch を使用しないでください。

iPod touch の前面のカバーはガラス製です。iPod touch を固いものの上に落としたり、強い衝撃を与えたり、ぶついたり、曲げたり、変形させたりすると、このカバーが割れるおそれがあります。ガラスが欠けたり割れたりしたときは、割れたガラスに触ったり自分で取り除こうとしたりしないで、

iPod touch の使用を中止し、アップルまたはアップル正規サービスプロバイダにガラスの交換を依頼してください。誤用または乱用が原因でガラスが割れた場合は、有償修理となります。

傷や摩耗などから保護したい場合は、数多く市販されているケースを別途購入して、使用することができます。

水中や水気のある場所、湿気の多い場所を避ける 雨の中や洗面台の近くなど、水分で濡れるおそれのある場所で iPod touch を使用しないでください。iPod touch の上に食べ物や液体をこぼさないよう注意してください。iPod touch を濡らしてしまった場合は、すべてのケーブルを取り外し、iPod touch の電源を切ってから（スリープ/スリープ解除ボタンを長押ししてから、画面上のスライダをスライドさせます）、水気を拭き取ってください。完全に乾くまで、電源は入れないでください。電子レンジやヘアドライヤーなど自然乾燥以外の方法を使って iPod touch を乾かそうとしないでください。iPod touch が液体で濡れて故障した場合は、有償修理となります。

iPod touch を修理する/改造する/電池を交換する 絶対に iPod touch を自分で修理したり改造したりしないでください。iPod touch には、お使いの方がご自身で修理できる部品はありません。iPod touch が水に浸かったり、落下による激しい衝撃を受けたり、本体に穴が開いたりした場合は、お使いになる前にアップル正規サービスプロバイダまでお持ちください。修理については、次の Web サイトを参照してください：www.apple.com/jp/support/ipodtouch。iPod touch の充電式電池の交換は、必ずアップル正規サービスプロバイダに依頼してください。電池について詳しくは、次の Web サイトを参照してください：www.apple.com/jp/batteries

iPod touch を充電する iPod touch を充電するときは、必ず、USB ケーブル用の Apple Dock コネクタ（Apple Dock Connector to USB Cable）を Apple USB 電源アダプタ（Apple USB Power Adapter）または他のデバイス上の USB 2.0 準拠高電力型 USB ポートに接続するか、iPod touch 対応のアップル製の他の製品やアクセサリまたは「Made for iPod」ロゴが表示されたアップル認定の他社製アクセサリを使用してください。

iPod touch をお使いになる前に、製品およびアクセサリの安全性に関する指示をよくお読みください。Apple Inc. は、他社製アクセサリの動作、およびそれらが安全性の規格や法規制に準拠しているかどうかについて責任を負いません。

Apple USB 電源アダプタを使って iPod touch を充電する場合は、コンセントに差し込む前に、電源アダプタが完全に組み立てられていることを確認してください。確認後、Apple USB 電源アダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。濡れた手で Apple USB 電源アダプタを抜き差ししないでください。

Apple USB 電源アダプタは、通常の使用中でも熱くなることがあります。常に、Apple USB 電源アダプタの周りには十分な換気空間を設けるようにし、電源アダプタに触れる際には十分に注意してください。以下のいずれかの場合には、Apple USB 電源アダプタをコンセントから抜いてください：

- 電源コードまたはプラグが擦り切れたり損傷したりした場合。
- アダプタが、雨、液体、または過度の湿気にさらされた場合。
- アダプタのケースが損傷した場合。
- アダプタを修理する必要があると思われる場合。
- アダプタを清掃する場合。

聴覚の損傷を避ける 内蔵スピーカー、イヤフォン、ヘッドフォンなどを大音量で使用すると、聴覚を損なうおそれがあります。音量は適切なレベルに設定してください。大音量で再生を続けていると、耳が

慣れ、通常の音量のように聴こえることがありますが、聴覚が損なわれている可能性があります。耳鳴りがする場合や話がよく聞こえない場合は、聴くのを中止して、聴力検査を受けてください。音量が大きい程、聴覚に影響を受けるまでの時間が早くなります。聴覚の専門家は、次のような方法で聴覚を保護することを勧めています：

- 内蔵スピーカー、イヤフォン、ヘッドフォンなどを大音量で使用する時間を制限します。
- 周囲の騒音を遮断する目的で、音量を上げることを避けます。
- 近くで人が話す声が聞こえない場合には、音量を下げます。

iPod touch の最大音量の制限を設定する方法については、「iPod touch ユーザガイド」を参照してください。

安全に運転する 車や自転車を運転しながら iPod touch を単体で、またはヘッドフォンを接続して（たとえ片方の耳だけであっても）使用することは、推奨されていません。また、一部の地域では法律により禁止されています。車や自転車でお出掛けの場合は、iPod touch などの携帯機器の使用に関する法規制に従ってください。自動車の運転中、または自転車での移動中は特に注意してください。車や自転車の運転その他注意が必要な作業を行っているときに、携帯機器の使用によって注意力が妨げられると感じたら、iPod touch の使用を中止してください。

安全に移動する 地図、方位、経路、または位置情報を利用するナビゲーション機能を提供する iPod touch アプリケーションだけに頼って、正確な位置、周辺情報、方位、距離、または経路を判断しないでください。これらのアプリケーションは、基本的なナビゲーション補助機能を目的としてのみ使用してください。

地図、経路、および位置情報を利用するアプリケーションでは、データサービスを利用しています。これらのデータサービスは、予告なく変更されることがあり、また、地域によっては提供されていないことがあります。そのため、地図、デジタルコンパス、経路、および位置情報を利用した情報が入手できなかったり、正確でなかったり、不完全であったりする場合があります。

注意力が必要な行動を取っているときは、位置情報を利用するアプリケーションを使用しないでください。安全に運転するための重要な情報については、「安全に運転する」を参照してください。iPod touch を使用している地域の標識、法律、および規制に必ず従ってください。

てんかん発作、意識喪失、および眼精疲労について ゲームをしているときまたはビデオを視聴しているときに閃光や点滅光にさらされると、（そのような症状を以前に経験したことがない人でも）人によっては意識を失ったりけいれん発作を起こすことがあります。けいれん発作や意識消失の既往歴がある人、または家族にそのような既往歴を持つ人がいる場合には、iPod touch でゲーム（持っている場合）をしたりビデオを視聴する前に医師の診察を受けることをお勧めします。頭痛、意識喪失、ひきつけ、目や筋肉のけいれんやふるえ、記憶喪失、不随意運動、または見当識障害などの症状が生じた場合は、ただちにゲームを中止し、医師の診察を受けてください。頭痛、意識消失、けいれん発作、および目の痛みが発生する危険性を低くするには、長時間使用することを避け、iPod touch を目からある程度離して持ち、照明が十分な部屋で iPod touch を使用し、適度に休憩をとるようにしてください。

反復操作について iPod touch でキー入力やゲームのプレイなどの反復操作を行うと、手、腕、肩、首、その他の体の部位に不快な症状を感じる可能性があります。使用中または使用後に不快な症状が続くようなら、使用を中止して医師の診察を受けてください。

エアバッグ装着車について エアバッグの動作時には大きな力がかかります。iPod touch およびアクセサリ類をエアバッグの上方やエアバッグの動作範囲内に置かないでください。

コネクタとポートを使用する コネクタは、ポートに無理に押し込まないでください。ポートに障害物がないか確認してください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、それらの形状が一致していない可能性があります。コネクタとポートの形状が一致していることを確認し、ポートに対して正しい向きでコネクタを差し込んでください。

アクセサリとワイヤレス性能 使用状況によっては、一部のアクセサリが iPod touch のワイヤレス性能に影響する場合があります。アクセサリを付けた状態でも、iPod touch の向きを変えたり場所を移したりすることで、ワイヤレス性能が向上する場合があります。

適切な温度の範囲内で iPod touch を扱う iPod touch は、温度が 0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F) に保たれた場所で操作し、温度が -20°C ~ 45°C (-4°F ~ 113°F) に保たれた場所で保管するように設計されています。低温または高温の状態では、電池の寿命が一時的に短くなったり、iPod touch が一時的に正しく動作しなくなったりすることがあります。駐車した車の中や直射日光の下に iPod touch を放置すると、保管または動作温度範囲を超える場合があります。iPod touch 上または iPod touch の内部が結露する場合があるため、iPod touch を使用するとき温度または湿度が急激に変化しないようにしてください。

iPod touch の使用中またはバッテリーの充電中は、iPod touch がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。iPod touch の外装には、装置内部の熱を外部の空気で冷却する機能があります。

高周波エネルギーの人体への影響 iPod touch には電波送受信機が内蔵されています。電源が入っているときは、iPod touch は高周波 (RF) エネルギーをアンテナから送受信します。Wi-Fi および Bluetooth® 通信用アンテナは、Dock コネクタのある端を下にして持つと、本体前面の左上にあります。iPod touch は、日本国法令および日本国総務省の勧告によって定められた高周波エネルギーの人体への曝露基準に準拠するように設計、製造されています。曝露基準は、人体の電力比吸収率 (SAR) が計測の単位として使用されています。

iPod touch は装着式装置として検査の上、総務省の定める Wi-Fi および Bluetooth 操作時の SAR 曝露基準を満たしていることが確認されています。

それでも高周波エネルギーの人体への影響が心配な場合は、iPod touch のワイヤレスモードの使用時間を制限することで、曝露量を低減させることができます。これは、曝露時間も人体に対する曝露量に影響するためです。また、距離により曝露レベルは劇的に減少するため、身体と iPod touch との間の距離をさらに離すことも有効です。

追加情報 高周波エネルギーに関するさらに詳しい情報は、FCC のサイトを参照してください：
www.fcc.gov/oet/rfsafety

高周波エネルギーに関する科学調査などの情報は、世界保健機関 (WHO) の EMF データベースを参照してください：www.who.int/peh-emf/research/database

高周波干渉 電子機器からの高周波放射は、ほかの電子機器の動作に悪影響を及ぼし、故障を引き起こす場合があります。iPod touch は、米国、カナダ、日本、欧州連合などの国々で高周波放射を管理する規制に準拠するように設計、検査、および製造されていますが、iPod touch に内蔵された無線送信機や電気回路がほかの電子機器と電波干渉を起こす場合があります。このため、次の警告を順守してください：

航空機 飛行中の iPod touch の使用は禁止されている場合があります。iPod touch の無線送信機を切にする方法について詳しくは、「iPod touch ユーザガイド」を参照してください。

自動車 iPod touch からの高周波放射は、自動車の電子システムに影響を及ぼす場合があります。製造元またはカスタマーサービスに問い合わせてください。

ベースメーカー ベースメーカーに対する電波干渉を避けるために以下のことに気をつけてください：

- 電源が入っているときは、常に iPod touch をベースメーカーから 15 cm (6 インチ) 以上離してください
- iPod touch を胸ポケットに入れて移動しないでください

電波干渉があるかもしれないと思った場合は、すぐに iPod touch の電源を切ってください。(赤色のスライダが表示されるまでスリープ/スリープ解除ボタンを長押ししてから、そのスライダをドラッグします。)

医用電気機器 医用電気機器をお使いの場合は、製造元または医師に問い合わせ、iPod touch からの高周波放射から機器が十分に保護されているかどうかを確認してください。

医療機関 病院や医療機関には外部の高周波放射に特に影響を受ける医用機器を使用している場合があります。医療スタッフまたは掲示されている規則によって、電子機器の電源を切るように指示された場合は、iPod touch の電源を切ってください。

その他の施設 電子機器の電源を切るように指示がある施設では、iPod touch の電源を切ってください。

iPod touch の外側を清掃する iPod touch を清掃する場合は、すべてのケーブルを取り外し、iPod touch の電源を切ります (スリープ/スリープ解除ボタンを長押ししてから、画面上のスライダをスライドさせます)。その後、柔らかくけば立たない布を水で湿らせて使用してください。開口部に水が入らないように注意してください。iPod touch を清掃するために、窓ガラス用洗剤、家庭用洗剤、スプレー式の液体クリーナー、有機溶剤、アルコール、アンモニア、研磨剤は使用しないでください。

認定および準拠

一部の iPod touch の認定および準拠マークは画面上で確認できます。確認するには、「設定」>「一般」>「情報」>「認証」と選択します。

FCC 準拠基準

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product. This product has demonstrated EMC compliance under conditions that included the use of compliant peripheral devices and shielded cables between system components. It is important that you use compliant peripheral devices and shielded cables between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, televisions, and other electronic devices.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

カナダ準拠基準

Complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications. Cet appareil numérique de la Classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada. This device complies with RSS 210 of Industry Canada. This Class B device meets all the requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations. Cet appareil numérique de la Classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

欧州共同体準拠基準

本機器は、電磁場 (0 ~ 300GHz) の公衆曝露制限を規定した高周波曝露基準 1999/519/EC (1999 年 7 月 12 日理事会勧告) に準拠しています。本機器は、次の適合標準を満たしています : EN 300 328、EN 301 489、EN 301 489-17、EN 50385

Europe—EU Declaration of Conformity

Български Apple Inc. декларира, че този клетъчен, Wi-Fi, Bluetooth предавател е в съответствие със съществения изисквания и другите приложими правила на Директива 1999/5/EC.

Česky Apple Inc. tímto prohlašuje, že tento Wi-Fi & Bluetooth g je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES.

Dansk Undertegnede Apple Inc. erklærer herved, at følgende udstyr Wi-Fi & Bluetooth overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.

Deutsch Hiermit erklärt Apple Inc., dass sich das Gerät Wi-Fi & Bluetooth in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.

Eesti Käesolevaga kinnitab Apple Inc. seadme Wi-Fi & Bluetooth vastavust direktiivi 1999/5/EÜ põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele.

English Hereby, Apple Inc., declares that this Wi-Fi & Bluetooth device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

Español Por medio de la presente Apple Inc. declara que el Wi-Fi & Bluetooth cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.

Ελληνική ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ Apple Inc. ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ Wi-Fi & Bluetooth ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/EK.

Français Par la présente Apple Inc. déclare que l'appareil Wi-Fi & Bluetooth est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE.

Íslenska Hér með lýsir Apple Inc. yfir því að Wi-Fi & Bluetooth er í samræmi við grunnkröfur og aðrar kröfur, sem gerðar eru í tilskipun 1999/5/EC.

Italiano Con la presente Apple Inc. dichiara che questo Wi-Fi & Bluetooth è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.

Latviski Ar šo Apple Inc. deklarē, ka Wi-Fi & Bluetooth atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem.

Lietuvių Šiuo Apple Inc deklaruoja, kad šis Wi-Fi & Bluetooth atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas.

Magyar Alulírott, Apple Inc. nyilatkozik, hogy a Wi-Fi & Bluetooth megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak.

Malti Hawnhekk, Apple Inc., jiddikjara li dan Wi-Fi & Bluetooth jikkonforma mal-ħtiġijiet essenzjali u ma provvedimenti oħrajn relevanti li hemm fid-Dirrettiva 1999/5/EC.

Nederlands Hierbij verklaart Apple Inc. dat het toestel Wi-Fi & Bluetooth in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.

Norsk Apple Inc. erklærer herved at denne Wi-Fi- og Bluetooth er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.

Polski Niniejszym Apple Inc. oświadcza, że Wi-Fi & Bluetooth jest zgodny z zasadniczymi wymogami oraz pozostałymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/EC.

Português Apple Inc. declara que este Wi-Fi & Bluetooth está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE.

Româna Prin prezenta Apple Inc. declară că acest aparat Wi-Fi & Bluetooth este în conformitate cu cerințele esențiale și cu celelalte prevederi relevante ale Directivei 1999/5/CE.

Slovensko Apple Inc. izjavlja, da je ta Wi-Fi & Bluetooth v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES.

Slovensky Apple Inc. týmto vyhlasuje, že Wi-Fi & Bluetooth spĺňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES.

Suomi Apple Inc. vakuuttaa täten että Wi-Fi & Bluetooth tyypinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.

Svenska Härmed intygar Apple Inc. att denna Wi-Fi & Bluetooth står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.

EU 適合宣言書のコピーは次の Web サイトから入手できます：
www.apple.com/euro/compliance



iPod touch は、次の欧州共同体（EC）および EFTA 諸国で使用できます：

AT	BG	BE	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR	HU	IE	IT	LV	LT
LU	MT	NL	PL	PT	RO	SK	SL	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH	

欧州共同体規制

Français Pour usage en intérieur uniquement. Consultez l'Autorité de Régulation des Communications Electroniques et des Postes (ARCEP) pour connaître les limites d'utilisation des canaux 1 à 13. www.arcep.fr

Italiano Approvato esclusivamente per l'uso in locali chiusi. L'utilizzo all'esterno dei propri locali è subordinato al rilascio di un'autorizzazione generale.

Ελλάδα Για χρήση σε εσωτερικούς χώρους μόνο

シンガポールワイヤレス認定

Complies with
IDA Standards
DB00063

韓国基準

“당해 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음”

“이 기기는 민명안전과 관련된 서비스며 사용할 수 없습니다”

B급 기기(가정용 방송통신기기)

이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

台灣ワイヤレス基準

無線設備の警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

日本準拠基準—VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

Apple製品1年限定保証

Apple製品専用

消費者の権利および制限 お買い上げの国、または異なる場合は居住地における消費者保護法／規則によって適用のある消費者の場合、本保証による権利は、消費者保護法／規則による権利と救済方法に追加されるものです。本保証は、売買契約の不履行から生じる消費者のいかなる権利をも、除外、制限、留保しません。しかしながら、以下に示す通り、アップルは法によって最大限認められる範囲内において制定法上または黙示の保証を否定するものとし、当該保証が否定されない限り、法によって認められる範囲内において、これらの保証はすべて以下に示す明示保証期間に限定され、アップルの単独の裁量により決定される修理または交換サービスに制限されます。州（国または地域）によっては、黙示保証もしくは条件の期間に関する制限を認めておらず、ここに示した制限はお客様に該当しない場合があります。本保証は、お客様に対し特定の法的権利を賦与し、またお客様は州（国または地域）によって異なる他の権利を有することがあります。本限定保証は、製品が購入された国の法律に準拠し、これに従い、解釈されます。本限定保証の保証者であるアップルとは、製品が購入された国または地域に応じて本書末尾に記載の通りとします。

保証 アップルの本ハードウェアについての保証は、本保証における条件に限定されるものとします。アップルは、以下の表に定める通り、本ハードウェアについて通常の使用時において材質および製造上の

瑕疵がないことを、最初のエンドユーザである購入者が販売店から購入した日より1年間（以下「保証期間」といいます）保証します。万一、ハードウェアに瑕疵があり、かつ有効な請求が保証期間内にアップルになされた場合、アップルの選択によって、かつ法律が認める限りにおいて以下のいずれかを行うことができます：(1) 当該製品を新品の部品あるいは性能および信頼性において新品と同等の再生部品を使用して無償にて修理させて頂きます、(2) 当該製品を新品の製品に交換するか、性能および信頼性において新品と同等の再生製品に交換させて頂きます、(3) 製品代金の返金をさせて頂きます。アップルは、お客様に対し、瑕疵のある部品を、アップルがその保証義務の履行の方法として、新品または再生の在宅自己交換修理部品を提供して、これと交換して頂くよう依頼することができるものとします。アップルが提供させて頂いた説明に従ってインストールされた在宅自己交換修理部品を含む製品または部品は、元々の製品保証の残存期間または交換／修理日より90日間のいずれか長い期間、お客様に対して保証されるものとします。製品または部品が交換された場合、新しい製品または部品がお客様の所有物となり、不具合製品または部品はアップルの所有物になるものとします。アップルがその保証義務の履行の方法として提供した部品は、保証履行が請求された製品において使用されなければなりません。製品代金が返金される場合、返金対象製品は、アップルに返却されなければならない、アップルの所有物になるものとします。

例外および制限 法によって最大限認められる範囲内において、ここに示した本保証およびその救済方法は、唯一の保証であり、口頭あるいは書面のいずれかを問わず、制定法上、明示あるいは黙示を問わず、その他の保証、救済、条件について代わるものです。適用される法律によって認められる場合、アップルは、特に一切の制定法上の、または黙示の保証をしないものとし、これには商品性、特定目的適合性、隠れたあるいは潜在的欠陥に対する黙示の保証をしないことを含むものですが、これに限るものではありません。制定法上または黙示の保証に対する制限を法的に認めない地域がある場合、これらの保証はすべて、明示保証の期間に制限され、さらにアップルの単独の裁量により決定された修理または交換サービスに制限されます。州（国または地域）によっては、黙示保証もしくは条件の期間に関する制限を認めておらず、ここに示した制限はお客様に該当しない場合があります。アップルの販売店、代理店あるいは社員は、本保証の修正、延長、追加を行うことが認められていないものとします。いずれかの条件が違法または履行不能であると判断された場合、残りの条件の違法性または履行可能性は影響を受けず、または支障がないものとします。

本保証は、ハードウェアに付されたアップルの商標、商号あるいはロゴとして識別できるアップルによってあるいはアップルのために製造されたハードウェアのみに適用されます。本保証はアップルハードウェアとともにパッケージされたり、販売された場合においてもアップル以外のハードウェアあるいはソフトウェアには適用されないものとします。アップル以外の製造者、供給者、あるいは発行者は、そのエンドユーザに対し、それぞれ独自の保証を提供することがありますが、アップルは、法律で認められている限り、それらの製品を「現状渡し」で提供します。アップルによってアップルブランドとともに、またはアップルブランドなしに配布されるソフトウェア（システムソフトウェアを含みますが、これに限られません）については、本保証の対象ではありません。この使用に関するお客様の権利についての詳細に関してはそれぞれのソフトウェアに付随する使用許諾契約書を参照願います。アップルは、製品の使用が中断されず、またはエラーなく作動することを保証しません。アップルは、製品の使用に関する指示に従わないことに起因する損害に対して責任を負いません。

本保証は、以下のいかなる場合においても適用がありません：(a) バッテリー等の消耗品、ただし損害が材質上および製造上の瑕疵により生じた場合はこの限りではありません、(b) 表面的な損傷、なおこれには、かすり傷、へこみ、ポートのプラスチックの欠損を含むものとしますが、これに限りません、(c) アップル以外の製品とともに使用することによって生じる損害、(d) 事故、乱用、誤使用、液体との接触、火事、地震または他の外的原因による損害、(e) アップルが定め、許可し、意図した使用方法以外で製品を作

動させたことにより生じる損害、(f) アップルの担当者またはアップル正規サービスプロバイダ以外の者が行ったサービス（アップグレードや拡張を含みます）によって生じる損害、(g) アップルの書面による許可なく機能性もしくは性能の変更のために製品または部品が改造された場合、(h) アップルのシリアル番号がはがされたり、汚損された場合。

重要：ハードウェア製品を開けないでください。ハードウェア製品を開けると本保証の対象外の損害を引き起こす場合があります。本ハードウェア製品について、アップルとアップル正規サービスプロバイダだけがサービスを行うものとします。

本保証で認められることを除き、法によって最大限認められる範囲内において、アップルは保証もしくは条件違反から生じる、いかなる法的理論に基づく直接、特別、間接、結果的損害に責任を負わないものとし、これには使用機会の損失；収入の損失；実利益もしくは予想利益の損失（契約上の利益の損失を含みます）；金銭使用の損失；予定貯蓄の損失；ビジネスの喪失；機会の喪失；営業権の喪失；評判の喪失；データの損失・損害・漏洩・汚染；または設備および所有物の交換、アップル製品に保存・使用されたいかなるプログラムあるいはデータを回復あるいは再生する費用、製品に保存されたデータの機密保持維持の不履行を含めて生じる一切の間接・結果的損失・損害を含むものとします。上記の制限は、死や身体傷害に関する請求または故意および重過失による作為あるいは不作為に対する法的責任には適用しないものとします。アップルは、プログラムもしくはデータを逸失もしくは損失することなくアップルが本保証に基づいて製品を修理できること、または製品を交換することの保証をしているものではありません。州（国または地域）によっては、付随的もしくは結果的損害の例外もしくは制限を認めておらず、ここに示した制限または例外はお客様に該当しない場合があります。

保証サービス方法

保証サービスを依頼される前に以下に記載のオンラインヘルプリソースにアクセスの上、これをご参照下さい。これらのリソースをお使いになられてもなお製品が適切に起動しない場合、保証サービスをどのようにして受けられるかについて説明させていただいている以下のアップルのオンラインサポートウェブサイトにもアクセス願います。お客様には、アップルによる保証のプロセスに従って頂きます。アップルは、以下のいずれかの方法により保証サービスを提供することができます：(i) その場でサービスが履行される場合、アップル直営店もしくはアップル正規サービスプロバイダの拠点において、またはアップル直営店もしくはサービスプロバイダが当該製品をアップル修理センターへ送付して修理される場合があります；(ii) アップルがお客様の当該製品がピックアップ & デリバリー修理サービスの対象となると判断した場合、アップルの指定業者が対象機器を引き取りに伺います；(iii) お客様に新品もしくは再生の在宅自己交換修理製品または部品を送付することにより、お客様はご自身の製品を修理または交換することができます（以下「DIY サービス」といいます）。交換用製品または部品の受領時に、不具合製品または部品は、アップルの所有物となり、お客様は、必要な場合に不具合製品または部品を適切な時期にアップルに返却する手配を含む指示に従うことに同意して頂きます。不具合製品または部品の返却が必要な DIY サービスを提供する場合、アップルは、交換用製品または部品の小売価格および該当する送料の保証のためにクレジットカード認証を求める場合があります。お客様が指示に従っている場合、アップルは、クレジットカード認証をキャンセルし、お客様には製品または部品代金と送料を請求しません。お客様が指示通りに不具合製品もしくは部品を返却しない場合、または不具合製品もしくは部品が保証サービスの対象外である場合、アップルは認証金額をクレジットカードにより引き落とさせていただきます。サービスオプション、部品の入手可能性、および回答に要する時間は、サービスが依頼される国ごとに異なる場合があります。サービスオプションは、随時変更されるものとします。お客様は、サービスを依頼する国において当該製品のサービスが受けられない場合、送料および取扱手数料を負担していただく場合があります。お客様が購入された国以外の国でサービスが必要な場合、お客様は適用される

すべての輸出入規制法を遵守し、一切の関税、付加価値税、その他関連する税金および諸費用を負担するものとします。海外でのサービスに関し、アップルは、不具合製品または部品を現地の基準に合致する同等の製品および部品にて修理または交換する場合があります。準拠法に従い、アップルは、保証サービスに先立ち購入証明の提供あるいは登録要件の遵守を求める場合があります。保証サービスに関する詳細は、以下に記載のオンライン情報をご参照ください。

プライバシー アップルは、<http://www.apple.com/legal/warranty/privacy> で閲覧可能な、アップルのプライバシーに関するポリシーに従い、お客様の情報を維持し、使用します。

データバックアップ お客様の製品がソフトウェアプログラム、データ、その他情報の保存が可能である場合、お客様は、コンテンツを保護し、機能障害の可能性から警戒するため、製品のハードドライブまたは他の記憶媒体上に含まれる本情報のバックアップ用複製物を定期的に作成しなければなりません。お客様が保証サービスを受けるため、お客様の製品を引き渡す前に、お客様は別にコンテンツのバックアップ用複製物を保管し、保護したい一切の個人情報およびデータを削除し、一切のセキュリティパスワードを無効にする責任を負担します。保証サービスの途中でお客様の記憶媒体のコンテンツが喪失または再フォーマットされる可能性もあり、アップルおよびその代理店は、媒体に保存されているプログラム、データもしくは他の情報、またはサービスが提供された製品のいずれの部分の損害または損失に一切責任を負いません。お客様の製品または交換用製品は、お客様の製品が最初に入力された時に設定されたように、適用されるアップデートを行い、お客様に返却されます。お客様のモデルに適用される場合、アップルは、お客様の製品がシステムソフトウェアの初期のバージョンに戻るのを防ぐため、保証サービスの一環としてシステムソフトウェアのアップデートをインストールし、結果として、以前インストールされていた第三者のソフトウェアとお客様の製品に互換性がなくなり、動作しないことがあります。お客様は、その他ソフトウェアプログラム、データおよびパスワードのすべてを再インストールする責任を負います。ソフトウェアプログラムおよびユーザーデータの修復ならびに再インストールについては、本保証の対象ではありません。

オンライン情報 以下に関する追加情報は、オンライン上で取得できます。

インターナショナルサポート情報

www.apple.com/support/country

正規代理店

<http://www.apple.com/iphone/countries/>

アップル正規サービスプロバイダ

<http://support.apple.com/kb/HT1937>

アップル直営店

<http://www.apple.com/retail/storelist/>

アップルサポートおよびサービス

http://www.apple.com/support/contact/phone_contacts.html

アップル無償サポート

<http://www.apple.com/support/country/index.html?dest=complimentary>

購入国／地域	アップル	所在地
南北アメリカ		
ブラジル	Apple Computer Brasil Ltda	Av. Cidade Jardim 400, 2 Andar, São Paulo, SP Brasil 01454-901
カナダ	Apple Canada Inc.	7495 Birchmount Rd. Markham, Ontario, Canada L3R 5G2 Canada
メキシコ	Apple Operations Mexico, S.A. de C.V.	Av. Paseo de la Reforma 505, Piso 33, Colonia Cuauhtemoc, Mexico DF 06500
米国および その他の南北アメリカ諸国	Apple Inc.	1 Infinite Loop Cupertino, CA 95014, USA
ヨーロッパ、中東、アフリカ		
すべての国	Apple Sales International	Hollyhill Industrial Estate Hollyhill, Cork, Republic of Ireland
アジア太平洋		
オーストラリア、ニュージーランド、 フィジー、バプアニューギニア、バヌアツ	Apple Pty. Ltd.	PO Box A2629, South Sydney, NSW 1235, Australia
香港	Apple Asia Limited	2401 Tower One, Times Square, Causeway Bay; Hong Kong
インド	Apple India Private Ltd..	19th Floor, Concorde Tower C, UB City No 24, Vittal Mallya Road, Bangalore 560-001, India
日本	Apple Japan Inc.	3-20-2 Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan
韓国	Apple Korea Ltd.	3201, ASEM Tower; 159, Samsung-dong, Gangnam-Gu; Seoul 135-798, Republic of Korea
アフガニスタン、バングラデシュ、 ブータン、ブルネイ、カンボジア、グアム、 インドネシア、ラオス、シンガポール、 マレーシア、ネパール、パキスタン、 フィリピン、スリランカ、ベトナム	Apple South Asia Pte. Ltd.	7 Ang Mo Kio Street 64, Singapore 569086
中華人民共和国	Apple Computer Trading (Shanghai) Co. Ltd.	Room 1815, No. 1 Jilong Road, Waigaoqiao Free Trade Zone, Shanghai 200131 China

購入国／地域	アップル	所在地
台湾	Apple Asia LLC	16A, No. 333 Tun Hwa S. Road, Sec. 2, Taipei, Taiwan 106
その他のアジア太平洋諸国	Apple Inc.	1 Infinite Loop Cupertino, CA 95014, USA

iPod J v1.7

© 2010 Apple Inc. All rights reserved.

Apple、Apple ロゴ、iPod、iPod touch、iTunes、FaceTime、および「Made for iPod」ロゴは、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。Bluetooth® のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Apple Inc. によるそれらのマークの使用はライセンスに基づいています。IOS は、米国その他の国における Cisco の商標または登録商標であり、Apple Inc. によるそのマークの使用はライセンスに基づいています。

J034-5510-A

Printed in XXXX